

E10「図解で学ぶ電気の基礎」

修正点のお知らせ

JTEX（訓）日本技能教育開発センター

企画開発グループ

TEL 03-3235-8682

謹啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度は、当センターの通信教育講座をご利用いただき、誠にありがとうございます。

さて、今回ご受講いただきました「図解で学ぶ電気の基礎—電気の性質とその利用」のテキスト（第5版、第6版）において、下記のような修正点が見つかりました。

つきましては、大変お手数をおかけして恐縮ですが、当該箇所修正を施した上でお使いいただけますよう、お願い申し上げます。

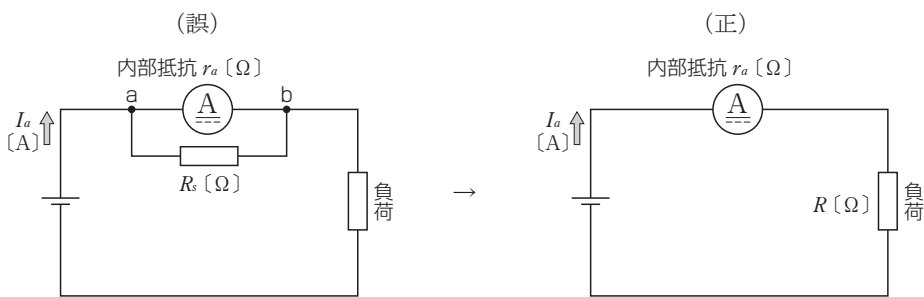
当センターの誤りで、ご迷惑をおかけ致しましたことを深くお詫び致します。

敬 具

記

●テキスト p.73

図2-30 電流計の接続



5、6行目 (誤)

$$\text{電流計を入れないときの電流} = \frac{\text{電圧}}{R_s}$$

(正)

$$\rightarrow \frac{\text{電圧}}{R}$$

$$\text{電流計を入れたときの電流} = \frac{\text{電圧}}{R_s + r_a}$$

(正)

$$\rightarrow \frac{\text{電圧}}{R + r_a}$$

●テキスト p. 165

図4-40 自己インダクタンス

自己インダクタンス…コイルの誘導起電力の発生しやすさを表す値

誘導起電力 自己インダクタンス

$$e = -L \frac{\Delta I}{\Delta t}$$

← 電流の変化分
← 変化に要する時間

自己インダクタンスが大きいコイル

2A → 3A / 1秒
1V

1秒間に1Aの電流変化で1Vの誘導起電力が発生するコイルの自己インダクタンスが1H

巻数が多い
径が小さい
磁束を通しやすい芯が入っている




図4-40 自己インダクタンス

図中

(誤) 径が小さい → (正) 径が大きい

以上
(1908)